

参考データ：本編分析の基礎資料

(参考1) 重複回答の傾向

- 1 回答者ごとの回答傾向
- 2 回答時期による回答傾向
- 3 館によるアンケート用紙回収状況

(参考2) 自由意見

アンケートの自由回答一覧。

本編の5～6ページに対応。

(参考1) 重複回答の傾向

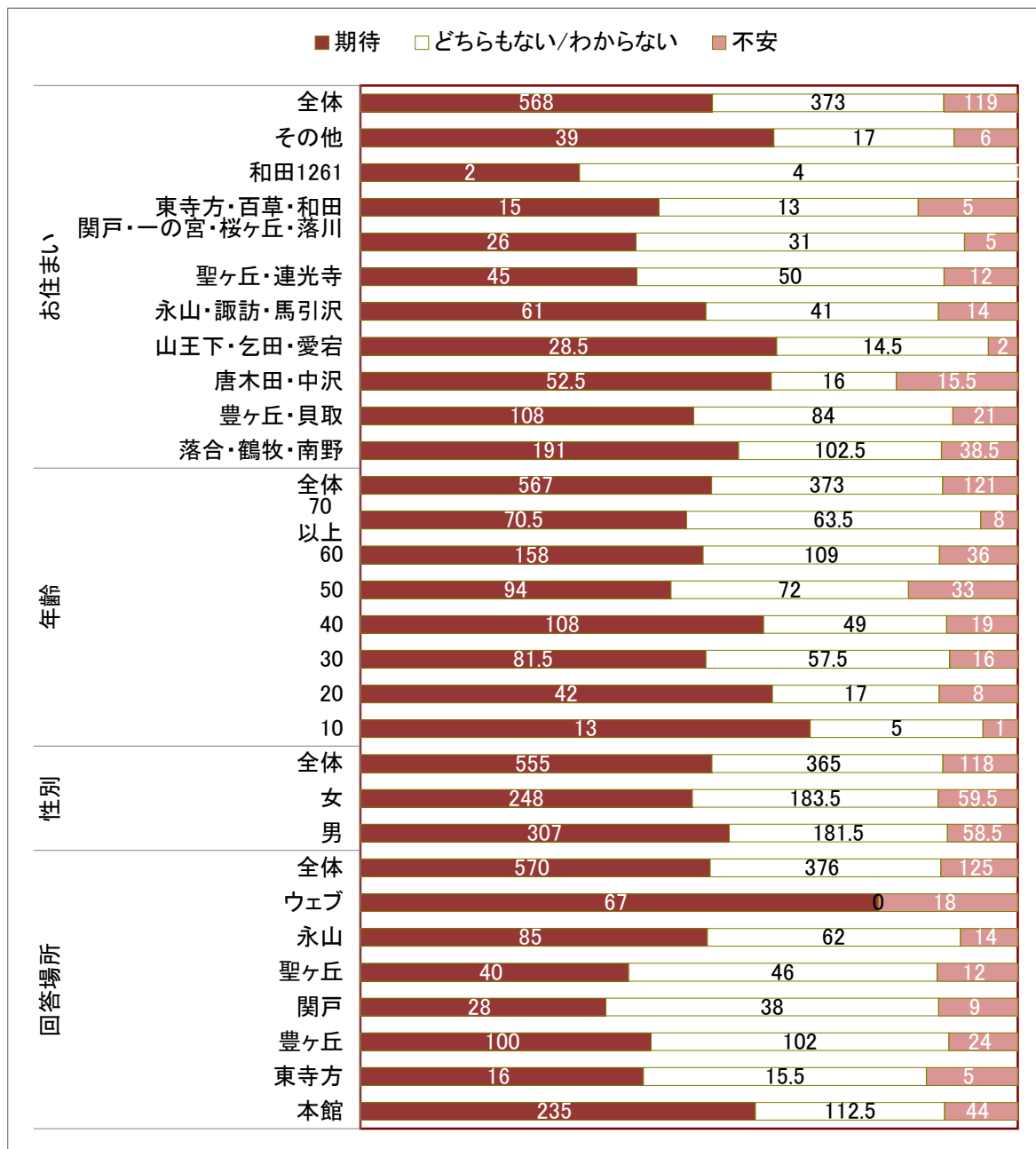
このアンケートは複数回答が可能のため、特定の人が全体の傾向に影響を及ぼすほど重複した回答を提出した可能性を分析した。以下に示すように、回答者の区分、回答時期による大きな偏りはみられず、重複回答の傾向は低いものと判断した。

なお、ここでは各設問における「その他」及び「無回答」は除いているので、単純集計の合計とは一致しない。

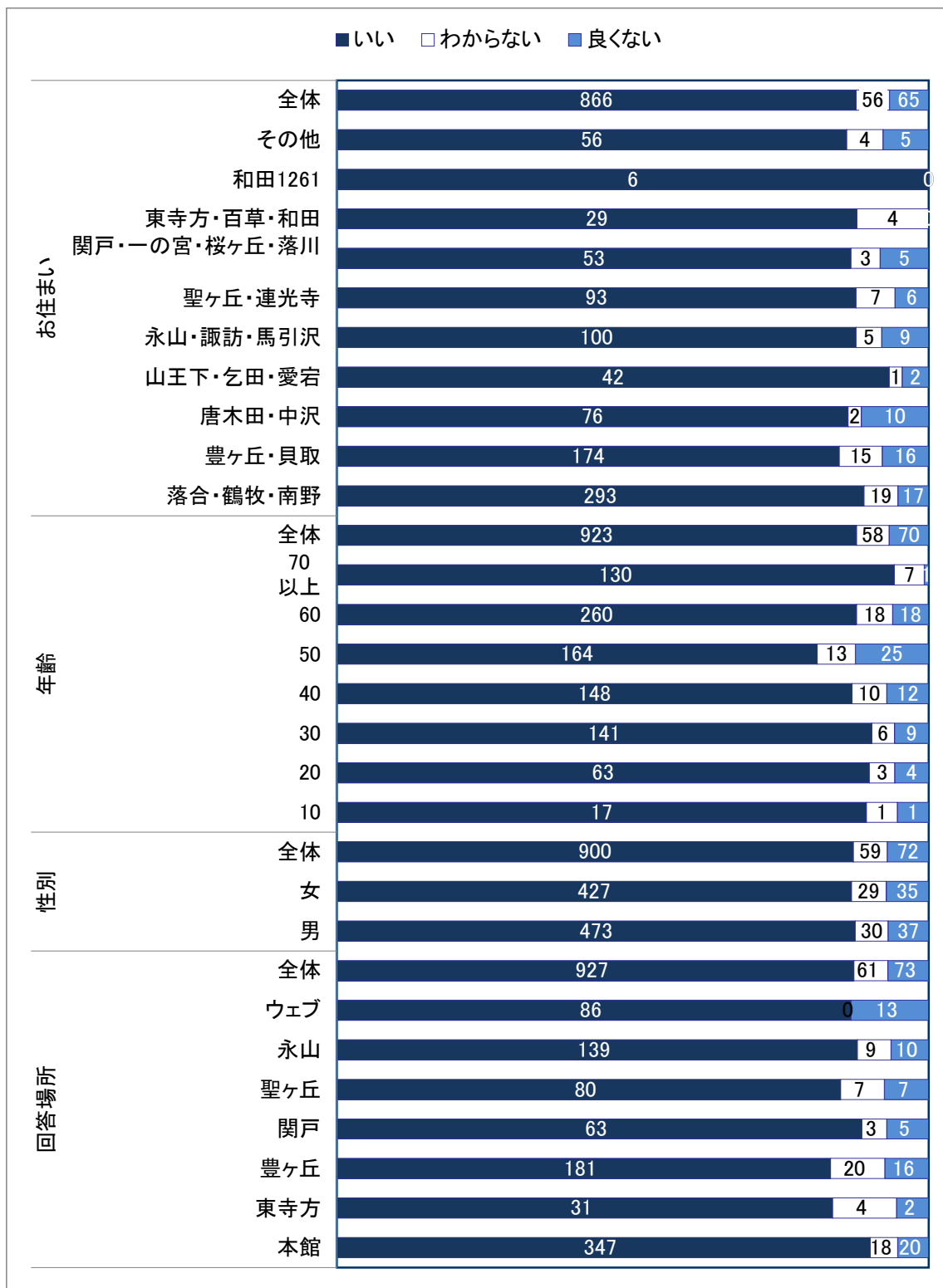
1 回答者ごとの回答傾向

お住まい、年齢など、回答者の区分により各設問の回答傾向に違いがあるかをみたもの。一部の回答母数が少ない区分を除いては、各区分の全体傾向とそれほど隔たりがなく、全体の傾向に影響を及ぼすほどの重複回答が存在する可能性は低いとみられる。

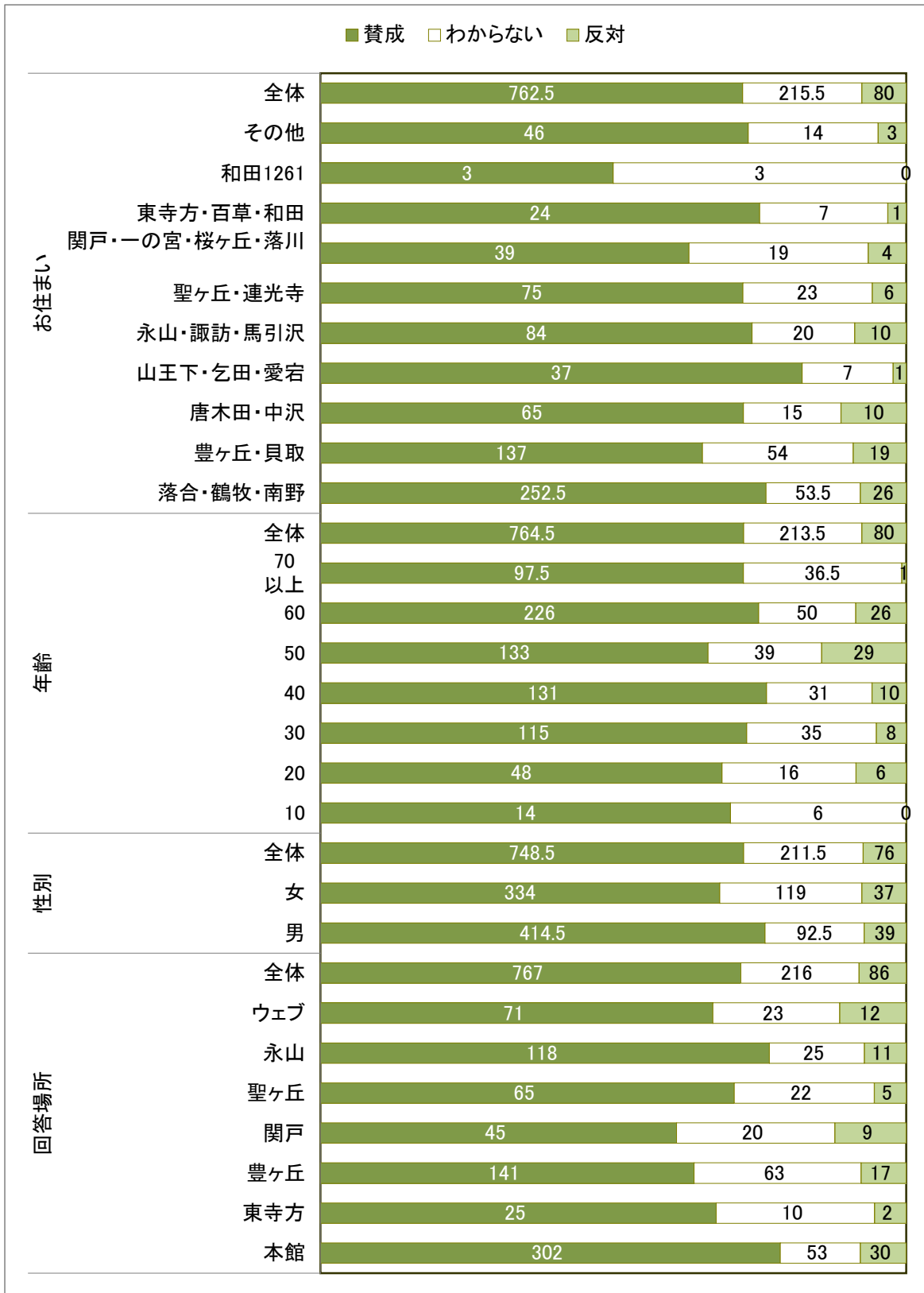
[設問1 不安感・期待感 回答傾向]



[設問2 実施・評価・見直しに対する回答傾向]



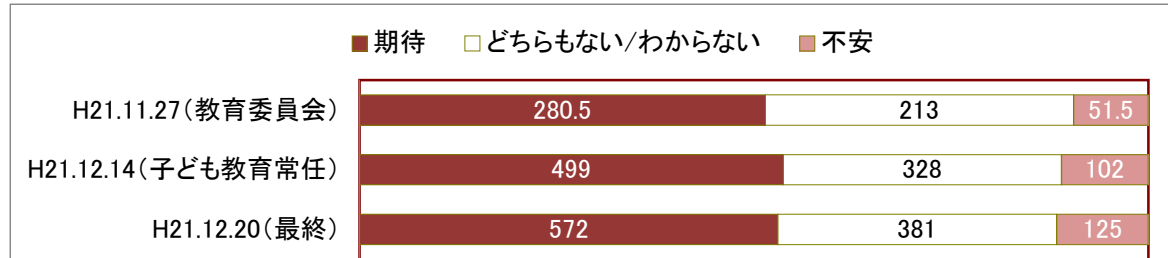
[設問3 手法に対する回答傾向]



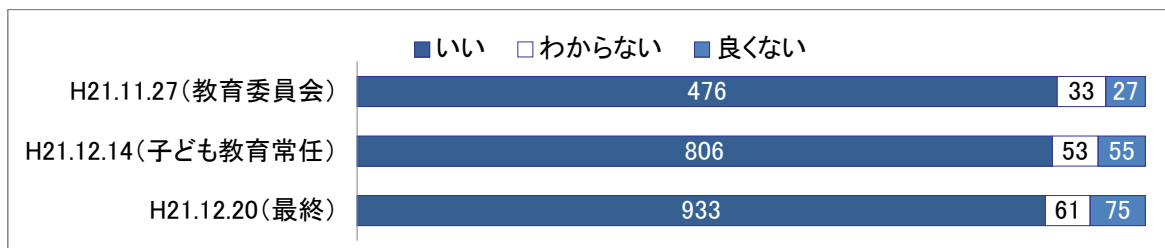
2 回答時期による回答傾向

回答の時期により各設問の回答傾向に違いがあるかをみたもの。時期による大きな変化は見られず、全体の傾向に影響を及ぼすような組織的な回答や重複回答が存在する可能性は低いとみられる。

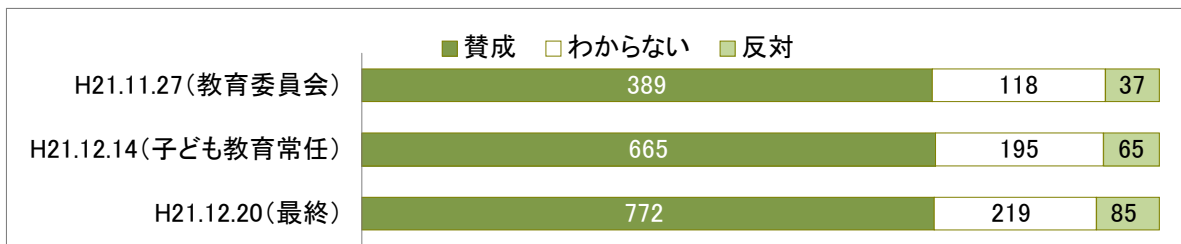
[設問1 不安感・期待感 回答傾向]



[設問2 実施・評価・見直しに対する回答傾向]



[設問3 手法に対する回答傾向]



3 館によるアンケート用紙回収状況

唐木田地区に近い本館、次いで豊ヶ丘の回収率が高い。開館時間が長く祝日も開館している駅前拠点館（関戸、永山）は、それ自体で充足しているためか回収率が低い。なお、これまでに行ったアンケートでも同様の傾向がみられた。

本館	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	全体
36%	12%	22%	9%	16%	8%	19%

